

一液性発泡ウレタン系止水材

ポリグラウト® O-30

ポリグラウト O-30 は、土木建築構造物向けの環境対応型注入止水材として開発した、加水反応型の一液性発泡ウレタン系注入薬液です。

本品は従来品の優れた発泡硬化性を保持しながら、環境配慮型の製品としています。

<性 状>

品 名	ポリグラウト O-30 (主剤)	ポリグラウト CA (硬化促進触媒)
外観	褐色液体	淡黄色透明液体
粘度 (mPa・s / 25°C)	90~190	2~10
比重 (20°C)	1.17~1.23	0.83~0.89
引火点 (°C)	204	118
消防法 危険物 指定数量	第4類第4石油類 6,000L	第4類第3石油類 2,000L
荷姿	18kg 缶入り	0.8kg 缶入り

表示数字は代表値を示します。

<特 長>

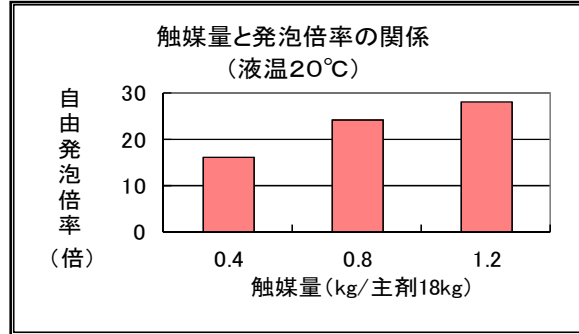
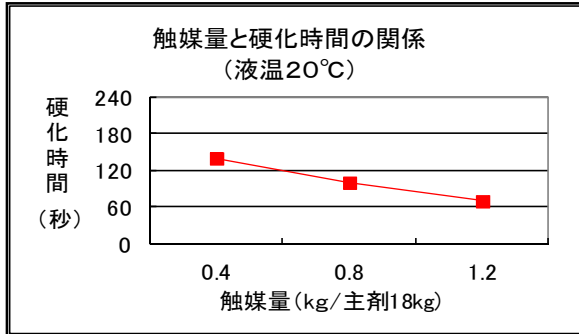
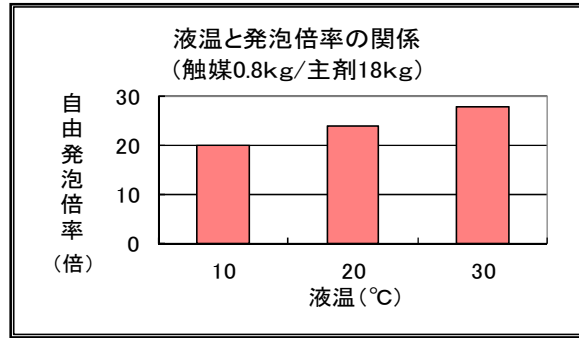
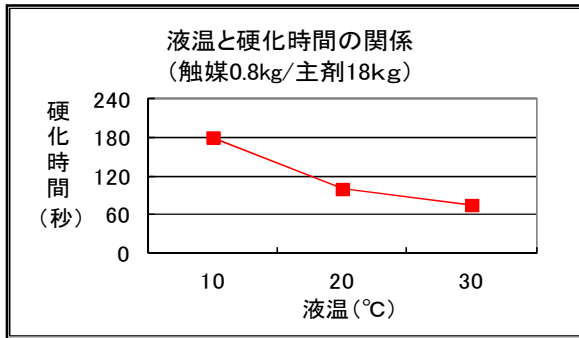
1. 疎水性タイプのウレタン系注入止水材です。
2. 一液性で注入作業性が良く、水や湿気と反応、硬化し、半硬質状発泡固結体を形成します。
3. 硬化過程で発泡し、クラック細部へ充填できます。
4. コンクリートなどによるアルカリ劣化が少なく、耐久性が優れています。
5. 重金属、特定化学物質、有機溶剤および環境ホルモンの疑いのある物質は含有しておりません。

<お願い>

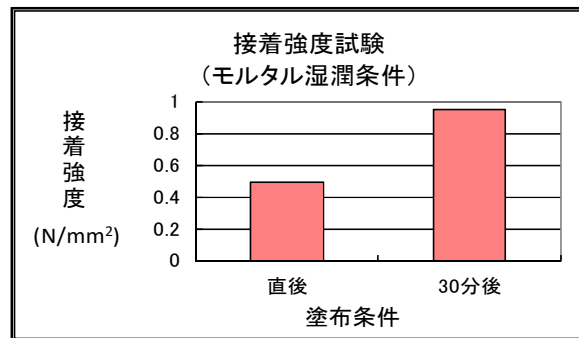
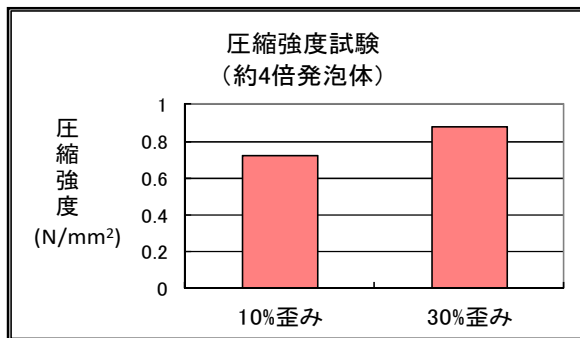
1. この資料に記載しているデータは、当社の実験的試験資料に基づくものですが、実際の現場使用結果を保証するものではありません。現場での使用に当たっては事前に使用条件、使用方法およびこれらの条件下での効果をご確認ください。
2. 記載内容は、新しい知見などにより、改正されることがあります。

本製品を使用になる場合は、使用前に必ず当社発行の SDS (安全データシート) を熟読のうえ、記載された注意事項などを厳守してください。

<硬化特性>



<固結体特性>



【供試体作成方法】

- ・形状；φ5×10cm サミット缶 (拘束発泡硬化)
- ・配合；主剤／触媒／水^{*}=100／4／20 (g)
- ※なお、水は試験体作作用に配合しているが、実施工では躯体中の水と反応硬化する為添加は不要

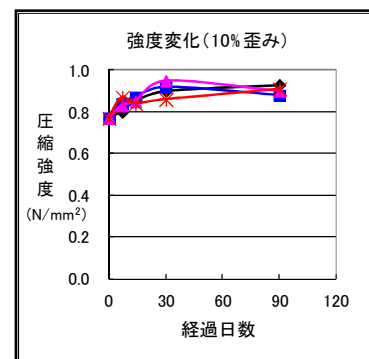
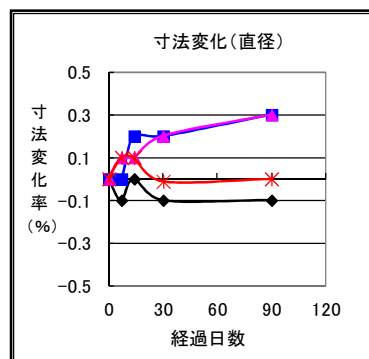
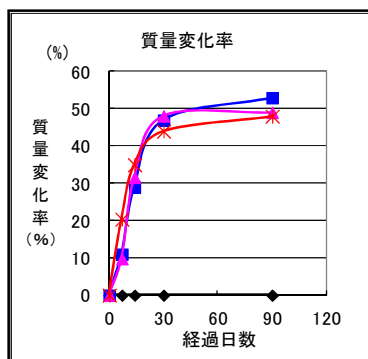
【供試体作成方法】

- ・配合；主剤／触媒=100／4 (g)
- ・材料塗布条件；
- ①直 後：モルタルを水中から引揚げ直後に塗布
- ②30分後：水中から引揚げ 30分後に塗布

【試験方法】

- ・接着剤の圧縮せん断接着強さ試験方法 (JIS K 6852) に準拠

<耐久性>



- ・固結体 (約4倍拘束発泡体；φ5×10cm) の各種条件下における性状の経時変化を評価

<施工方法>

保護具の着用

■注入作業時には必ず保護具を着用してください。

作業場の整備

■危険物ですので、火気厳禁の作業管理をしてください。

コンクリートの削孔

○躯体のコンクリートクラックに沿って、注入用の孔をドリルで削孔し、クラックの目詰まりが起きないように、エアで堀屑を取り除いてください。

注入プラグの挿入

○ドリルで削孔した孔に、注入プラグを挿入してください。

漏水の確認

■ポリグラウト O-30 は、コンクリートクラック内部に水がないと硬化しませんので、注入前に漏水があることを確認してください。

■漏水がない場合は、コンクリートクラック内部に水を注入してください。

○触媒の配合

- ・ポリグラウト O-30 は、必ずポリグラウト CA を配合してください。
- ・触媒の配合量は季節に応じて使い分けてください。
- ・触媒を配合し軽く攪拌を行ってください。

触媒の配合量目安

ポリグラウト O-30	ポリグラウト CA		
	冬季	春秋	夏季
18 k g	800 g	600 g	400 g

注入作業

○コンクリートクラックの最下部（水平面では最端部）より注入を始めてください。

■保護メガネ、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスクを着用してください。

■眼に入った場合は、直ちに水で15分間洗眼し、眼科医の治療を受けてください。

○注入作業が終わった器具（タンク、ホース）は、ウレタン用シンナーで洗浄してください。

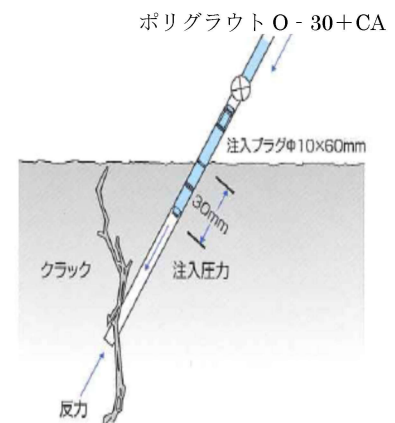
○漏水が止まったことを確認してから、注入プラグ部品を取り外してください。

■作業後は、手洗い、うがいを十分行ってください。

■皮膚に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い、作業服に付着したものは洗い落とすか着替えてください。

注入器具の洗浄

注入プラグの撤去



ポリグラウト O-30による止水工事例

<使用上の注意事項>

■取り扱い注意事項

1. **ポリグラウト O-30 は、MDI 系（4, 4' -ジフェニルメタンジイソシアネート 1%以上含有）無溶剤タイプの注入材ですので、「労働安全衛生法 表示・通知対象物質」に基づく措置を講ずるなど、労働者の健康障害を防止するための措置を講ずる必要があります。**
ポリグラウト CA はアミン成分を含んでおり、眼、皮膚および粘膜を刺激します。また皮膚に付着したまま放置した場合、やけどを引き起こす恐れがありますので、直接身体に触れないように注意してください。
2. ポリグラウト O-30 の取り扱いや注入止水作業に当たっては、次の事項をよく厳守してください。

① 火気厳禁

ポリグラウト O-30 は、消防法の危険物 第4類第4石油類、ポリグラウト CA は危険物第4類第3石油類に該当します。取り扱い中は、火気を絶対に近づけないよう「火気厳禁」としてください。

② 作業環境の換気

局所排気装置を設け、換気を十分に実施してください。気分を支障をきたした場合は、直ちに新鮮な空気の場所に移ってください。

③ 保護具の着用

作業に際しては、保護メガネ、ゴム手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を必ず着用してください。なお、使用前に手や顔に保護クリームを塗ると皮膚の保護に役立ちます。

④ 応急処置

注入薬液が眼に入った場合には、直ちに多量の清水で15分以上洗眼し、眼科医の治療を受けてください。また、手や皮膚に付着した場合は、直ちに水または石鹼水で洗い落としてください。

作業服に付着した場合は、石鹼水で洗い落とすか、着替えをしてください。

取り扱い後は手洗い、洗顔、うがいを十分に行ってください。

■保管上の注意事項

ポリグラウト O-30 およびポリグラウト CA は、雨、直射日光及び高温多湿を避けた屋内涼暗所に貯蔵保管してください。

■施工上の注意事項

1. 発泡圧への注意

ポリグラウト O-30 は、水と接触反応し、硬化時に炭酸ガスを発生します。注入孔一箇所当たり1kg以上の注入には過大な発泡圧や突沸が発生しますので、十分注意して施工を行ってください。

***注意！ 空隙充填には使用しないでください。発熱により発火する場合があります。**

2. 注入周辺への配慮

注入薬液が、目標外の場所に逸流したり、突沸したりしないよう、周辺の監視、注入圧、注入量の管理を十分に行い、過度の注入は避けてください。

3. 飲料水関連施設への使用はできません

このパンフレットに記載されています製品は、水道法に定められた認定を受けておりません。

飲料水に関わる施設の止水工事には使用しないでください。